

I 訓練内容・主なカリキュラム・取得可能な資格など

木造建築科

3年

建築大工としての基本を学びます。道具の研ぎ方、使い方や木造建築物に関する基礎的な知識の習得から始まり、技術と経験・知識を兼ね備えた講師陣の指導の元、伝統工法の技能と知識の習得を目指します。

建築板金科

3年

小物類から伝統的飾り工芸の製作や神社仏閣の銅板屋根葺、雨樋、庇等をイメージした板金作業等、多岐にわたる訓練を行います。訓練が終了する年には技能検定2級が取得できる技能及び知識の習得を目指します。

II 訓練校の声

本校は、働きながら訓練に励み、伝統的な技術等、建築に関する様々な知識を身につけ、自信を持って建築の仕事ができる職人の育成に取り組んでいます。また、同世代の志を同じくする仲間作りも、今後職人として独立した時に必ず役立つものとなるはずです。

III 受講生の声

親方の勧めで入校しました。月曜から金曜まで現場で仕事を教えていただき、訓練校では現場とは違う事が学べてとても有意義に感じています。様々な年齢の仲間もでき、共に頑張っています。今後の自分にとって貴重な3年間だと思います。

IV 訓練の様子・訓練風景など



↑ 建築板金科 授業風景



↑ 建築板金科 飾り工芸の作成



↑ 木造建築科 図面の作成



↑ 外観 車での通学OKです